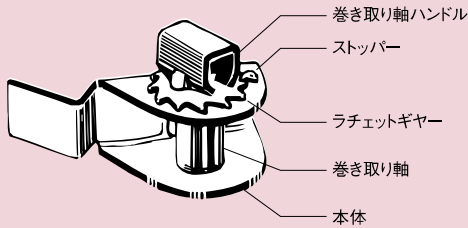


形鋼用 軽天井用 吊りボルト用  
支持金具

ステンレス製 ラチェット締め金具

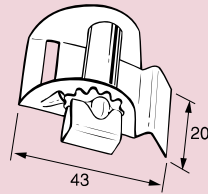
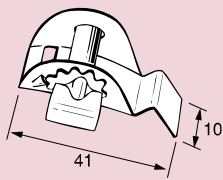
特長

1. SS-□は、ラチェットギヤ方式で、巻き取り軸ハンドルを反復回転するだけで十分な締め付けができます。
2. 付属品BP-□・ビニールチューブの併用で、ケーブル・電線管・アースモール・軽量機器・電柱札・標識板の取り付けに使用できます。
3. 角張った鉄柱や鉄塔での取り付けにも使用できます。
4. ラチェットギヤが、ストッパー突起に乗った隙間に、マイナスドライバーを差し込むと、バンドの取り外しができ再利用できます。



SS-10 (旧品番 SS-1)

SS-20 (旧品番 SS-2)

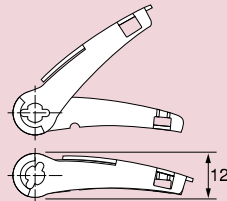
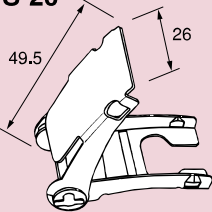


ステンレス製 (SUS304)

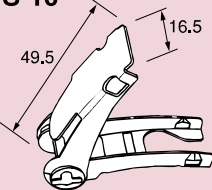
品番	適合	単品重量 (g)	梱包数		標準価格 (税別)	納期区分
	バンド幅 (mm)		小箱	大箱		
SS-10	10	15.4	20	200	円	○
SS-20	20	23.6	20	200	円	○

ステンレス製 レバー式ラチェット金具

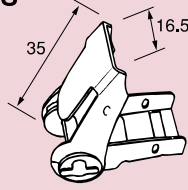
STS-20



STS-10



STS-10S



※鋼管外径φ70mm以下に適しています。

ステンレス製 (SUS304)

品番	適合	単品重量 (g)	梱包数		標準価格 (税別)	納期区分
	バンド幅 (mm)		小箱	大箱		
STS-10	10	15.6	20	200	円	○
STS-20	20	21.4	20	200	円	○
STS-10S	10	12.0	20	200	円	○

※○印は標準在庫品、△印は受注生産品、①工場在庫品 / ※ (Un) …ユニクロメッキ、(3Un) …三価ユニクロメッキ、(Zn) …溶融亜鉛めっき、(SUS) …ステンレス(SUS304)

取付方法

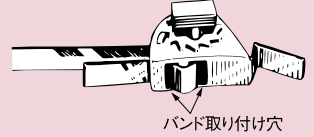
①ステンレスバンドの切断

まず取り付ける部分の電柱の周囲の長さに約10cmを加えてステンレスバンドを切断します。  
注) ケーブル、パイプ等の固定には、その分の長さも所要長さに見込んでください。

②ステンレスバンドの締め金具への取り付け

図1に示すようにバンドの片端を締め金具本体の中心の溝に差し込み、約5cm折り曲げ、端の溝に通して引っ張ります。

〈図1〉



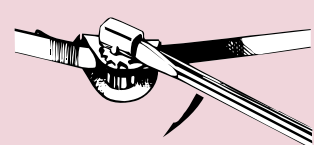
③巻きつけおよび締め付け

締め付け金具のギヤ部が上になるように電柱に当て、バンドの末端を図2の通りに巻取軸の溝に差し込みます。この時バンドには巻取軸へ2~3回巻き取るだけの余裕を与えてください。

〈図2〉



〈図3〉



④ 次に図3のようにペンチドライバーで巻取軸頭を矢印方向に回転させれば末端は巻き込まれて仕上がりが美しく完全に作業が終わります。(図4)

〈図4〉



⑤2重巻付方法

2重巻きのステンレスバンドの通し方は、図5の通りにして、その他の方法は標準巻きつけ方法に準じてください。標準巻きつけ方法の約2倍の強度が得られます。

〈図5〉



⑥巻き戻し方法

まず巻き取り軸を巻き取り方法に回転させ、ラチェットギヤがストッパーの上に乗った時に生じる本体とのすき間にマイナスドライバーを差し込みますとストッパーの働きがなくなり、矢印

〈図6〉

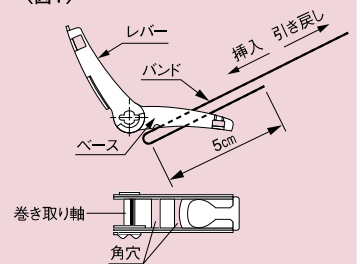


取付方法

①ベースにバンドを取り付ける

バンドを柱等の所要長+10cm程度に切断し、一端を約5cm折り返します。折り返した先端をベースの上面より軸側の角穴を貫通させた後、端部をもう1つの角穴から上に貫通させます。そして折り返し部が端にあたるまでバンドを引き戻します。(図1)

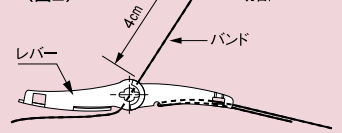
〈図1〉



②巻き取り軸にバンドを取り付ける

必要部品等を入力してバンドを電柱に巻き付けた後、バンドのもう一方の先端を巻き取り軸のスリットに差し込み、いっぱいまで引っ張ります。レバーを外側に倒して約3~4cm程度残してバンドを切断します。(図2)

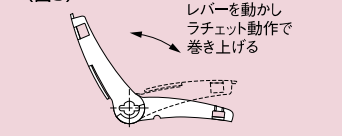
〈図2〉



③締め上げ (巻き上げ)

レバーを倒して、バンドを巻き取ります。反復動作1~2回で、バンドが柱に充分締まります。(図3)

〈図3〉



④クロージング

十分に締めましたら、レバーをベースに被せます。ベースの両脇のダボに完全にはめ込まれていることを確認し、取り付け完了。(図4)

〈図4〉

